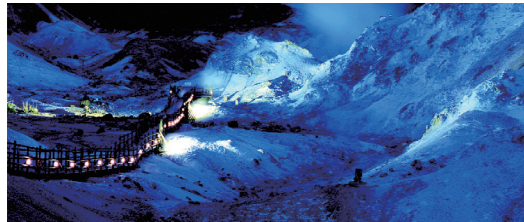




2011年まつり・イベント 鬼火が誘う地獄の谷



期間 2011年6月1日～11月30日まで
フットライト点灯時間 日没～10時まで
会場 地獄谷入口・地獄谷展望台・地獄谷遊歩道

地獄の谷の鬼火



期間 2011年6月1日～8月12日までの毎週木・金曜日
6月1日はオープニング特別開催
時間 午後8時30分
会場 地獄谷展望台付近
※悪天候等、中止の場合あり

第48回登別地獄まつり



期間 2011年8月27日(土)28日(日)の2日間
会場 登別温泉極楽通り

第41回登別温泉湯まつり



期間 2012年2月3日(金)4日(土)の2日間
会場 登別温泉源泉公園



登別温泉宿泊施設

- 第一涌本館
- ホテルまほろば
- 登別石水亭
- 祝いの宿登別グランドホテル
- 登別万世閣
- 望楼NOGUCHI登別
- 名湯の宿パークホテル雅亭
- ホテルゆもと登別
- 旅亭花ゆら
- 御やど清水屋
- 登別温泉郷涌乃家
- 涌本イン
- 玉乃湯
- 花鐘亭はなや

市外局番(0143)

- ☎84-3322
- ☎84-2211
- ☎84-2255
- ☎84-2101
- ☎84-3500
- ☎84-3939
- ☎84-2335
- ☎84-2277
- ☎84-2322
- ☎84-2145
- ☎84-2222
- ☎84-2205
- ☎84-3333
- ☎84-2521



登別伊達時代村

江戸時代の街並を時代考証に基づき忠実に再現。94棟の本造建築物が立ち並び、忍者達の大死闘をハイビジョンで楽しめる大忍者映像館や、妖怪が勢揃いする妖怪びっくり小屋、お大尽遊びを再現した日本伝統文化劇場などアトラクションが一杯です。



登別マリパークニクス

北欧のロマンチックな街並を再現。最大の見所は海洋美術館ニクス城で、内部が水族館になっており、頭上をサケやサメなどの魚群が回遊し、幻想的な海の世界が広がります。イルカやアシカのショーや、ペンギンのパレードも大人気です。



のぼりべつクマ牧場

登別温泉からロープウェイで登った山頂にあります。現在は100頭以上のエンピクマを飼育しており、第一牧場と第二牧場からなり、雄・雌別々に集団で生活しています。また、世界でもめずらしいヒグマ博物館やアイヌ民族の生活様式を再現したユーカーラの里などもあります。

さらに大正4(1915)年には、現在のJR登別駅から温泉までの8キロの区間に、3年後には蒸気機関車が、10年後には発電所が建設され電車が走るにまで至りました。こうして着々と今日の登別温泉街の基礎ができていき、歩みを進めようとしてきた時代と共に町並みや施設はその姿を変えてはいるものの、豊富な湯量と豊かな泉質は150年の時を経て変わらぬ泉質のまま、古より伝説の湯と語り継がれてきた体を癒し続けているのです。

その後の明治38(1905)年に日露戦争傷病兵の保養地に指定されたことから、各地から数多くの湯治客が訪れるようになりま

す。

松浦武四郎が登別温泉に初めて足跡を

つけたのは、弘化2(1845)年のこと

でした。それから15年後の万延元(1860)

年には、箱館奉行所において、南部藩

箱館留守居であった上山半右衛門が、11

種から成る書類をわたされたといわれ、

「前略」登別山中に温泉があるので、去る安政

5(1858)年新道を開き、止宿所を建

てた。旅人ならびに蝦夷人たちが自由に湯

治をしていいのを目にしています。この止

宿所は板敷板目造り、広さ十坪ほどの

のだったようで、これをきつかけに、利用

者への気配りが整い、湯治場と呼ばれるよ

うになっていったのです。

その後の明治38(1905)年に日露戦争

争傷病兵の保養地に指定されたから、各地

から数多くの湯治客が訪れるようになりま

す。

松浦武四郎が登別温泉に初めて足跡を

つけたのは、弘化2(1845)年のこと

でした。それから15年後の万延元(1860)

年には、箱館奉行所において、南部藩

箱館留守居であった上山半右衛門が、11

種から成る書類をわたされたといわれ、

「前略」登別山中に温泉があるので、去る安政

5(1858)年新道を開き、止宿所を建

てた。旅人ならびに蝦夷人たちが自由に湯

治をしていいのを目にしています。この止

宿所は板敷板目造り、広さ十坪ほどの

のだったようで、これをきつかけに、利用

者への気配りが整い、湯治場と呼ばれるよ

うになっていったのです。

その後の明治38(1905)年に日露戦争

争傷病兵の保養地に指定されたから、各地

から数多くの湯治客が訪れるようになりま

す。

松浦武四郎が登別温泉に初めて足跡を

つけたのは、弘化2(1845)年のこと

でした。それから15年後の万延元(1860)

年には、箱館奉行所において、南部藩

箱館留守居であった上山半右衛門が、11

種から成る書類をわたされたといわれ、

「前略」登別山中に温泉があるので、去る安政

5(1858)年新道を開き、止宿所を建

てた。旅人ならびに蝦夷人たちが自由に湯

治をしていいのを目にしています。この止

宿所は板敷板目造り、広さ十坪ほどの

のだったようで、これをきつかけに、利用

者への気配りが整い、湯治場と呼ばれるよ

うになっていったのです。

その後の明治38(1905)年に日露戦争

争傷病兵の保養地に指定されたから、各地

から数多くの湯治客が訪れるようになりま

す。

松浦武四郎が登別温泉に初めて足跡を

つけたのは、弘化2(1845)年のこと

でした。それから15年後の万延元(1860)

年には、箱館奉行所において、南部藩

箱館留守居であった上山半右衛門が、11

種から成る書類をわたされたといわれ、

「前略」登別山中に温泉があるので、去る安政

5(1858)年新道を開き、止宿所を建

てた。旅人ならびに蝦夷人たちが自由に湯

治をしていいのを目にしています。この止

宿所は板敷板目造り、広さ十坪ほどの

のだったようで、これをきつかけに、利用

者への気配りが整い、湯治場と呼ばれるよ

うになっていったのです。

その後の明治38(1905)年に日露戦争

争傷病兵の保養地に指定されたから、各地

から数多くの湯治客が訪れるようになりま

す。

松浦武四郎が登別温泉に初めて足跡を

つけたのは、弘化2(1845)年のこと

でした。それから15年後の万延元(1860)

年には、箱館奉行所において、南部藩

箱館留守居であった上山半右衛門が、11

種から成る書類をわたされたといわれ、

「前略」登別山中に温泉があるので、去る安政

5(1858)年新道を開き、止宿所を建

てた。旅人ならびに蝦夷人たちが自由に湯

治をしていいのを目にしています。この止

宿所は板敷板目造り、広さ十坪ほどの

のだったようで、これをきつかけに、利用

者への気配りが整い、湯治場と呼ばれるよ

うになっていったのです。

その後の明治38(1905)年に日露戦争

争傷病兵の保養地に指定されたから、各地

から数多くの湯治客が訪れるようになりま

す。

松浦武四郎が登別温泉に初めて足跡を

つけたのは、弘化2(1845)年のこと

でした。それから15年後の万延元(1860)

年には、箱館奉行所において、南部藩

箱館留守居であった上山半右衛門が、11

種から成る書類をわたされたといわれ、

「前略」登別山中に温泉があるので、去る安政

5(1858)年新道を開き、止宿所を建

てた。旅人ならびに蝦夷人たちが自由に湯

治をしていいのを目にしています。この止

宿所は板敷板目造り、広さ十坪ほどの

のだったようで、これをきつかけに、利用

者への気配りが整い、湯治場と呼ばれるよ

うになっていったのです。

その後の明治38(1905)年に日露戦争

争傷病兵の保養地に指定されたから、各地

から数多くの湯治客が訪れるようになりま

す。

松浦武四郎が登別温泉に初めて足跡を

つけたのは、弘化2(1845)年のこと

でした。それから15年後の万延元(1860)

年には、箱館奉行所において、南部藩

箱館留守居であった上山半右衛門が、11

種から成る書類をわたされたといわれ、

「前略」登別山中に温泉があるので、去る安政

5(1858)年新道を開き、止宿所を建

てた。旅人ならびに蝦夷人たちが自由に湯

治をしていいのを目にしています。この止

宿所は板敷板目造り、広さ十坪ほどの

のだったようで、これをきつかけに、利用

者への気配りが整い、湯治場と呼ばれるよ

うになっていったのです。

その後の明治38(1905)年に日露戦争

争傷病兵の保養地に指定されたから、各地

から数多くの湯治客が訪れるようになりま

す。

松浦武四郎が登別温泉に初めて足跡を

つけたのは、弘化2(1845)年のこと

でした。それから15年後の万延元(1860)

年には、箱館奉行所において、南部藩

箱館留守居であった上山半右衛門が、11

種から成る書類をわたされたといわれ、

「前略」登別山中に温泉があるので、去る安政

5(1858)年新道を開き、止宿所を建

てた。旅人ならびに蝦夷人たちが自由に湯

治をしていいのを目にしています。この止

宿所は板敷板目造り、広さ十坪ほどの

のだったようで、これをきつかけに、利用

者への気配りが整い、湯治場と呼ばれるよ

うになっていったのです。

その後の明治38(1905)年に日露戦争

争傷病兵の保養地に指定されたから、各地

から数多くの湯治客が訪れるようになりま

す。

松浦武四郎が登別温泉に初めて足跡を

つけたのは、弘化2(1845)年のこと

でした。それから15年後の万延元(1860)

年には、箱館奉行所において、南部藩

箱館留守居であった上山半右衛門が、11

種から成る書類をわたされたといわれ、

「前略」登別山中に温泉があるので、去る安政

5(1858)年新道を開き、止宿所を建

てた。旅人ならびに蝦夷人たちが自由に湯

治をしていいのを目にしています。この止

宿所は板敷板目造り、広さ十坪ほどの

のだったようで、これをきつかけに、利用

者への気配りが整い、湯治場と呼ばれるよ

うになっていったのです。

その後の明治38(1905)年に日露戦争

争傷病兵の保養地に指定されたから、各地

から数多くの湯治客が訪れるようになりま

す。

松浦武四郎が登別温泉に初めて足跡を

つけたのは、弘化2(1845)年のこと

でした。それから15年後の万延元(1860)

年には、箱館奉行所において、南部藩

箱館留守居であった上山半右衛門が、11

種から成る書類をわたされたといわれ、

「前略」登別山中に温泉があるので、去る安政

5(1858)年新道を開き、止宿所を建

てた。旅人ならびに蝦夷人たちが自由に湯

治をしていいのを目にしています。この止

宿所は板敷板目造り、広さ十坪ほどの

のだったようで、これをきつかけに、利用

者への気配りが整い、湯治場と呼ばれるよ

うになっていったのです。

その後の明治38(1905)年に日露戦争

争傷病兵の保養地に指定されたから、各地

から数多くの湯治客が訪れるようになりま

す。

松浦武四郎が登別温泉に初めて足跡を

つけたのは、弘化2(1845)年のこと

でした。それから15年後の万延元(1860)

年には、箱館奉行所において、南部藩

箱館留守居であった上山半右衛門が、11

種から成る書類をわたされたといわれ、

「前略」登別山中に温泉があるので、去る安政

5(1858)年新道を開き、止宿所を建

てた。旅人ならびに蝦夷人たちが自由に湯

治をしていいのを目にしています。この止

宿所は板敷板目造り、広さ十坪ほどの

のだったようで、これをきつかけに、利用

者への気配りが整い、湯治場と呼ばれるよ

うになっていったのです。

その後の明治38(1905)年に日露戦争

争傷病兵の保養地に指定されたから、各地

から数多くの湯治客が訪れるようになりま

す。

松浦武四郎が登別温泉に初めて足跡を

つけたのは、弘化2(1845)年のこと

でした。それから15年後の万延元(1860)

年には、箱館奉行所において、南部藩

箱館留守居であった上山半右衛門が、11

種から成る書類をわたされたといわれ、

「前略」登別山中に温泉があるので、去る安政

5(1858)年新道を開き、止宿所を建

てた。旅人ならびに蝦夷人たちが自由に湯

治をしていいのを目にしています。この止

宿所は板敷板目造り、広さ十坪ほどの

のだったようで、これをきつかけに、利用